

県民が安全で安心して快適に暮らし続けられる
奈良県づくりを進めます。



女性の活躍の促進、 結婚・子育ての支援、児童虐待防止

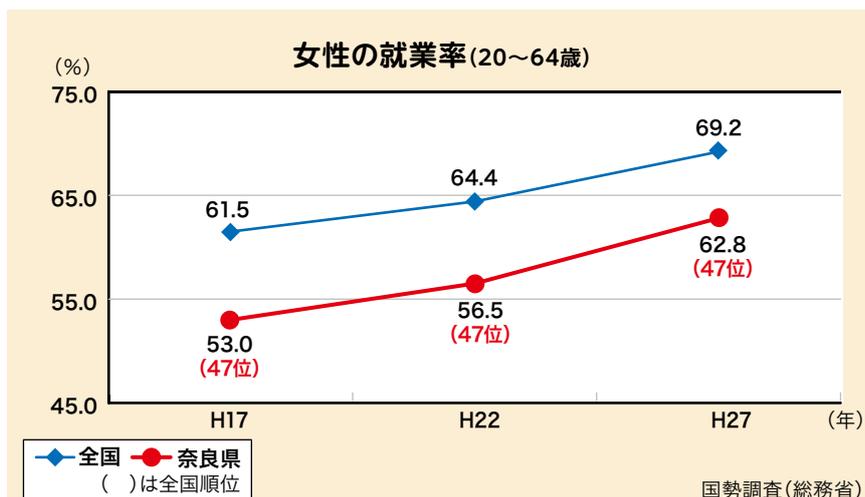
主担当部局：こども・女性局



県内企業で働く先輩女性の話を聞く女子大生(女子大学生ワーク&ライフEXPO)

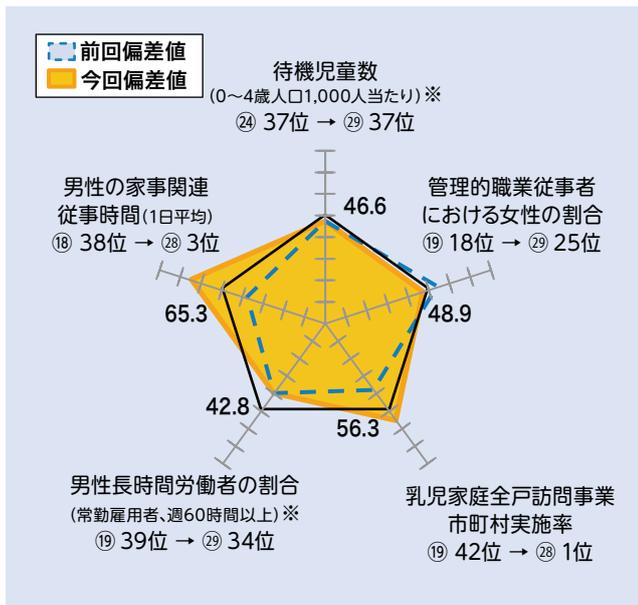
◆ 目指す姿

平成32(2020)年度中に、**女性の就業率**(20~64歳)の**全国平均**を目指します。

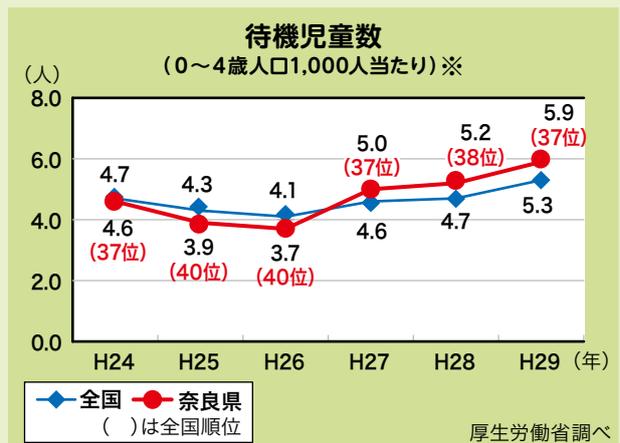


◆ 目指す姿を達成するための取組状況

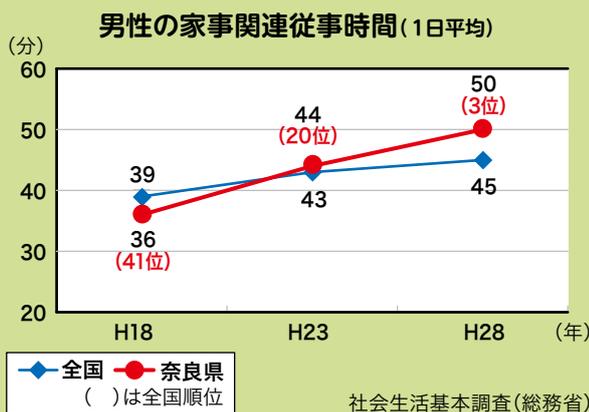
《 現状 》



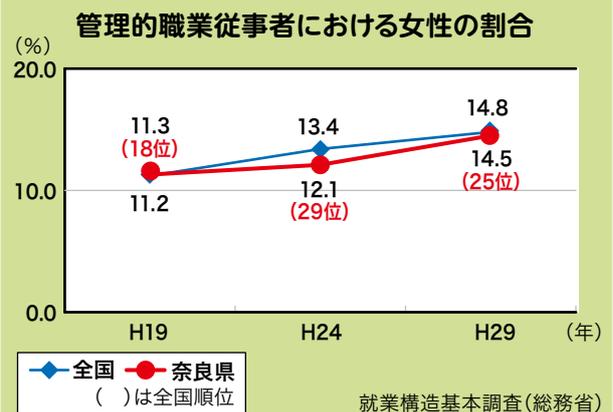
《 トレンド 》



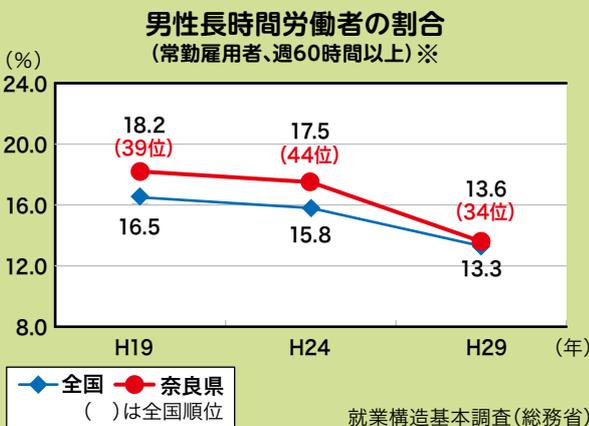
待機児童数は、保育ニーズの高まり等により、平成26年以降増加傾向にあり、全国平均を上回っています。



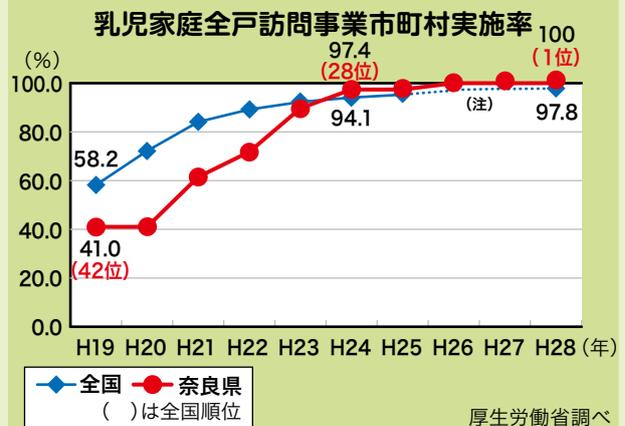
平成28年の男性の家事関連従事時間は、平成18年と比べて14分増加し、全国順位も41位から3位へ大きく上昇しました。



平成29年の管理的職業従事者における女性の割合は、平成19年と比べて3.2ポイント上昇し、全国平均とほぼ同水準になりました。



平成29年の男性長時間労働者の割合(常勤雇用者、週60時間以上)は、平成19年と比べて4.6ポイント低下し、全国平均とほぼ同水準になりました。



(注)H26、H27は全国値がないため、記載していません。

乳児家庭全戸訪問事業市町村実施率は、平成19年には41.0%で全国順位も低位でしたが、平成26年以降は県内全市町村で実施されています。

※は数値の低いものが上位になる指標です。



戦略 1

女性の潜在的労働力を活かし、**就業率向上を目指します。**

● 担当課：こども・女性局 女性活躍推進課

◆ 戦略目標 : :::: : :: : :: : :: : :: : :: : :: : ::



※は数値の低い方が良くなる指標です。

◆ 主な取組 : :::: : :: : :: : :: : :: : :: : :: : ::

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
男女とも意識・考えを変える取組の推進(マインド)	「なら女性活躍推進倶楽部」による女性活躍の気運醸成、女子学生のキャリア形成等の意識啓発		
女性の活躍の場の拡大(フィールド)	「なら女性活躍推進倶楽部」による交流会等を通じた女性が活躍できる環境づくりと起業への支援		
	「なら女性活躍推進倶楽部」会員企業と連携した再就職希望女性の就活支援		
女性のスキル・能力の向上(スキル)	キャリアアップ研修・講座におけるスキルアップ講義の実施		



女性のための起業セミナー(奈良市)



「なら女性活躍推進倶楽部」企業交流会(奈良市)

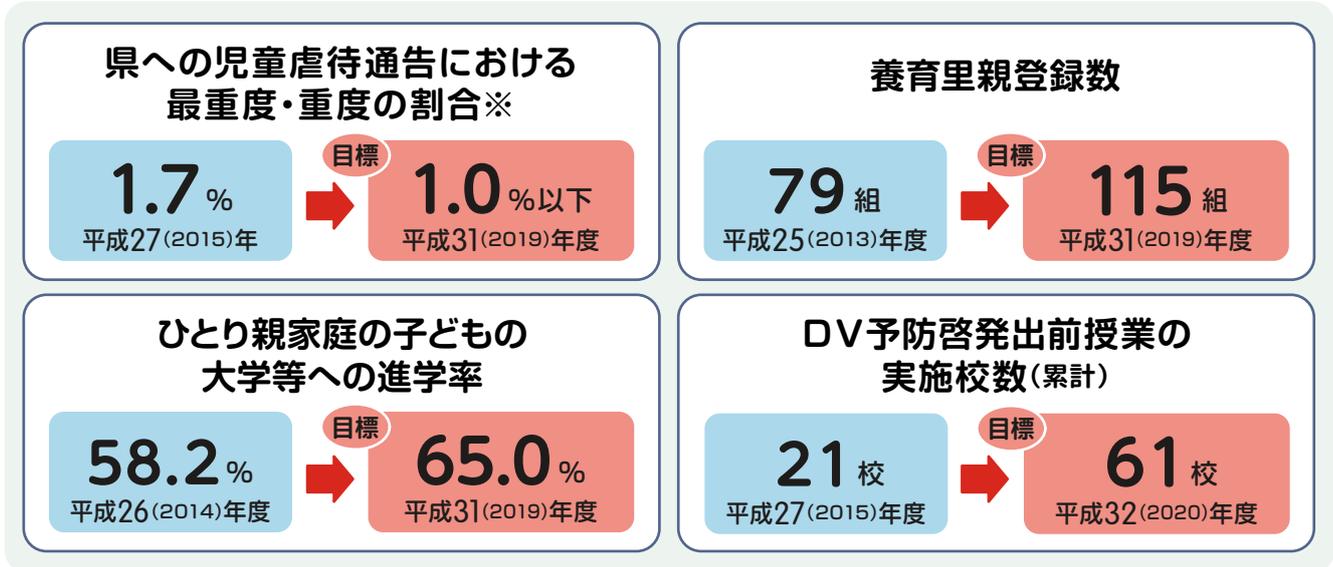


戦略3

子どもと女性を暴力から守り、困難を抱える子ども・女性を支援します。

● 担当課：こども・女性局 女性活躍推進課、こども家庭課

◆ 戦略目標 : :::: : :: : :: : :: : :: : :: : ::



※は数値の低い方が良くなる指標です。

◆ 主な取組 : :::: : :: : :: : :: : :: : :: : ::

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
市町村における児童虐待対策体制強化	市町村子ども家庭総合支援拠点の設置促進		
虐待を受けた子どもへの家庭的養育の推進	里親支援機関による里親制度の啓発・支援の展開		
子どもの居場所づくりの推進	こども食堂への奈良県産食材提供による健やかな子どもの育成、ひとり親家庭・生活困窮世帯の子どもへの学習支援の実施		
女性への暴力対策の推進	出前講座によるDV予防啓発、ワンストップ窓口等によるDV・性暴力被害者への支援		



オレンジリボンキャンペーン(天理市)



女性に対する暴力防止フォーラム(奈良市)



女性のための再就職支援セミナー&相談会(大和郡山市)



こども食堂で食事をすくこどもたち(奈良市)



企業主導型保育(橿原市)

県民が安全で安心して快適に暮らし続けられる
奈良県づくりを進めます。



地域防災力・消防救急体制の充実と 犯罪抑止及び交通事故防止対策の 推進

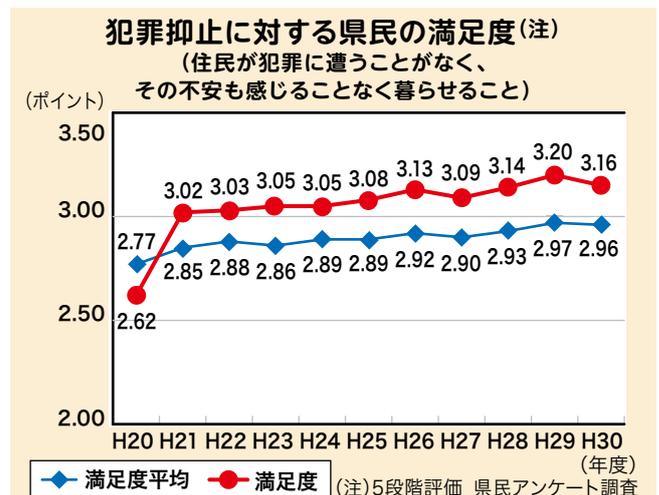
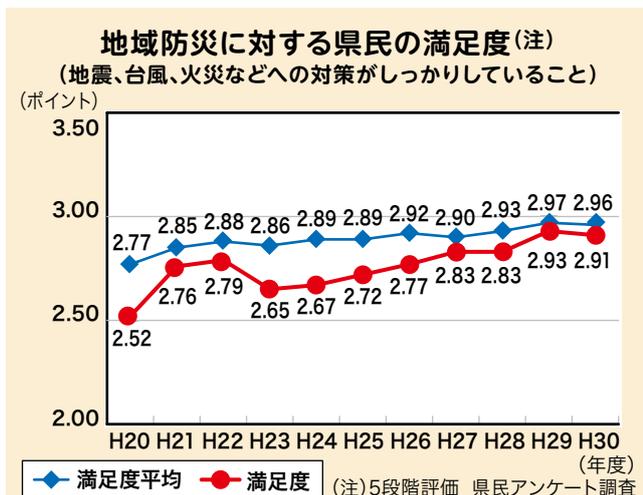
主担当部局：危機管理監



奈良県緊急消防援助隊による被災地における救助活動(平成30年7月豪雨・岡山県)

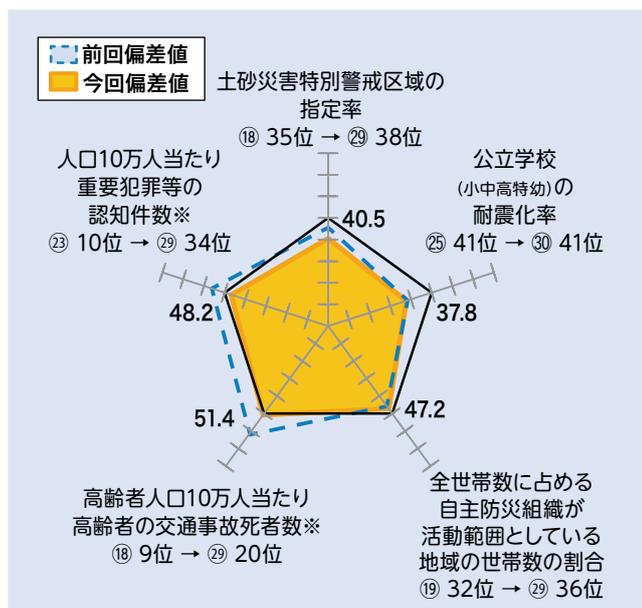
◆ 目指す姿

平成31(2019)年度までに、県民アンケート調査における地域防災に対する県民の満足度(地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること)を3.00ポイントにします。また、犯罪抑止に対する県民の満足度(住民が犯罪に遭うことがなく、その不安も感じることなく暮らせること)を高めます。

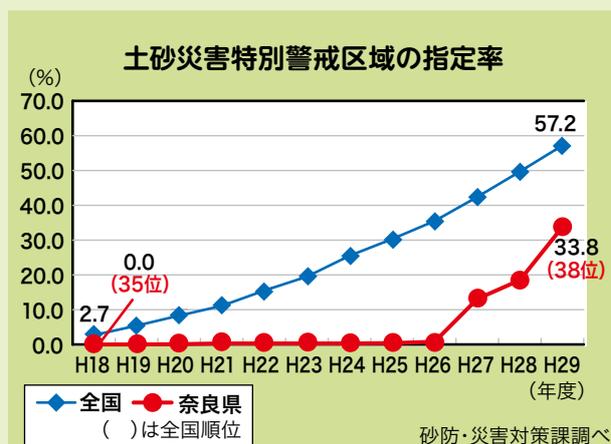


◆ 目指す姿を達成するための取組状況

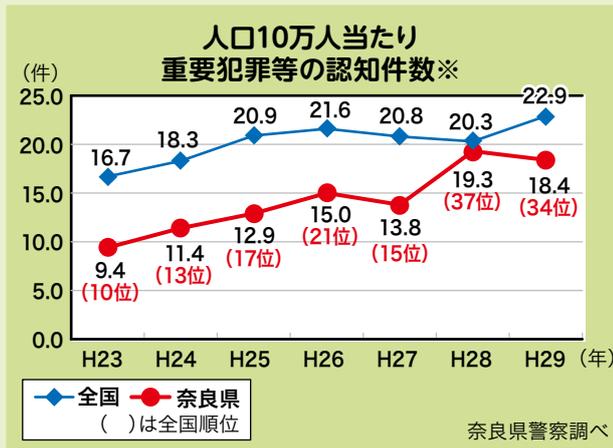
《 現状 》



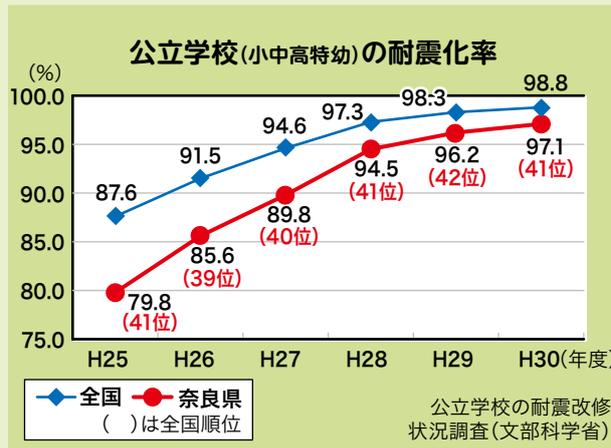
《 トレンド 》



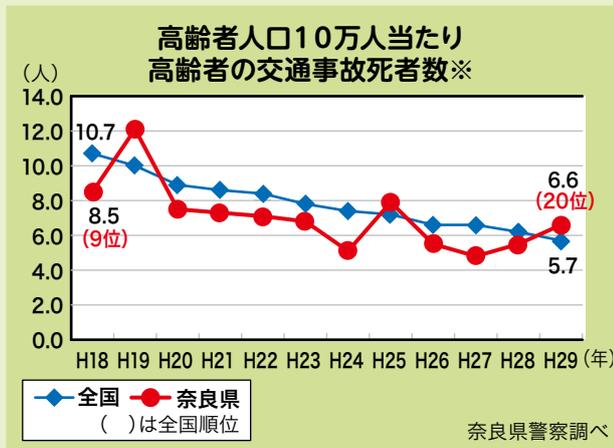
平成27年度に土砂災害警戒区域の指定が完了し、土砂災害特別警戒区域の調査・指定を進めたことにより、平成29年度の土砂災害特別警戒区域の指定率は33.8%となり、全国平均との差が縮まっています。



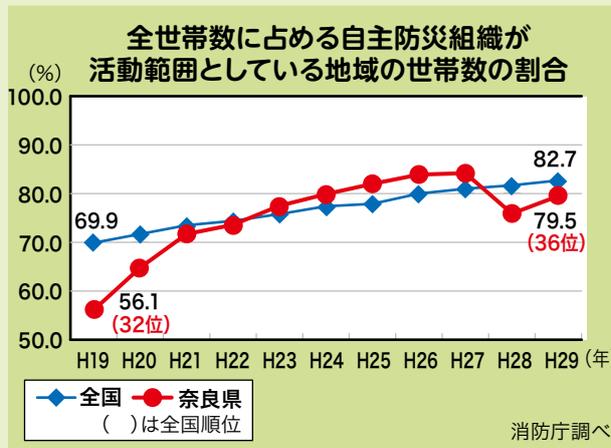
平成29年の人口10万人当たり重要犯罪等の認知件数は、平成28年に引き続き、特殊詐欺が多発したことから、平成23年と比較して9.0件増加しました。



平成30年度の公立学校(小中高特幼)の耐震化率は、県立学校の耐震化整備集中期間の設定、県市町村による公立学校施設の優先的な整備等により、平成25年度と比較して17.3ポイント上昇しました。



平成29年の高齢者人口10万人当たり高齢者の交通事故死者数は、交通事故情報総合管理システムを活用した交通事故分析に基づく各種交通事故抑止活動により、平成18年と比較して1.9人減少しました。



全世帯数に占める自主防災組織が活動範囲としている地域の世帯数の割合は、平成19年以降、順調に伸びてきましたが、平成28年から低下し、2年連続で全国平均を下回りました。

※は数値の低いものが上位になる指標です。

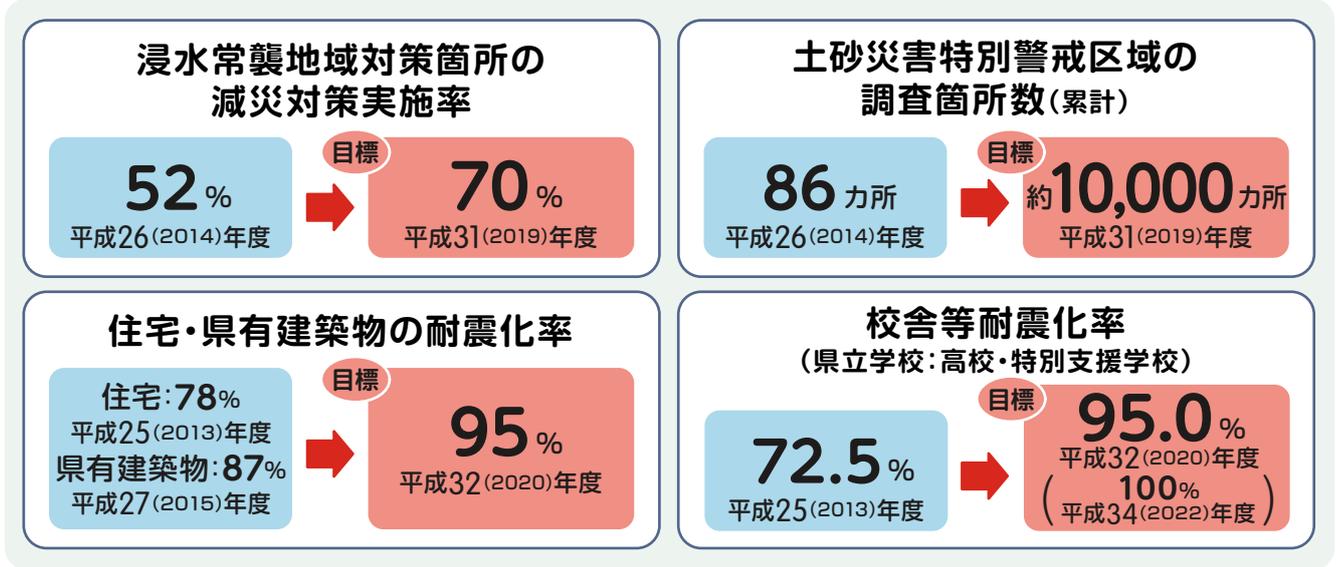


戦略 1

土砂災害警戒区域等の調査や建築物の耐震化等の減災対策を推進します。

● 主担当課：県土マネジメント部 河川課

◆ 戦略目標 : :::: : :: : :: : :: : :: : :: : ::



◆ 主な取組 : :::: : :: : :: : :: : :: : :: : ::

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
大和川流域における総合治水対策の推進	「大和川流域における総合治水の推進に関する条例」の運用		
土砂災害警戒区域等の指定推進	土砂災害の恐れのある土地の調査、区域の指定		
住宅・建築物の耐震化の促進	耐震化知識の普及・啓発や補助事業等の実施による耐震診断・改修の促進		
県有建築物・県立学校の耐震化の推進	耐震診断・耐震改修設計・工事の実施		



耐震改修工事(檀原高等学校)



土砂災害地域防災マップづくりワークショップ(三輪小学校)



戦略 2

地域住民の防災・自助意識の向上を図るための訓練や研修を実施するなど、**地域の防災力を高めます。**

● 主担当課：知事公室 防災統括室

◆ 戦略目標 : :::: ::::: :: :: :: :: :: :: ::

災害による死者数※

1人
平成30(2018)年度

目標
➔ **ゼロ**を目指す

ナラ・シェイクアウト訓練参加者数(累計)

82,684人
平成26(2014)年度

目標
➔ **825,000人**
平成32(2020)年度

全世帯数に占める自主防災組織が活動範囲としている地域の世帯数の割合

79.5%
平成29(2017)年度

目標
➔ **85.0%**
平成32(2020)年度

119番通報から病院が受け入れるまでに要した時間※

44.3分
平成27(2015)年

目標
➔ **全国平均**
より短縮
平成32(2020)年
(平成28年の全国平均:39.3分)

※は数値の低い方が良くなる指標です。

◆ 主な取組 : :::: ::::: :: :: :: :: :: :: ::

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
陸上自衛隊駐屯地の誘致及び広域防災拠点・新消防学校の整備	政府要望の実施、気運醸成、防衛省が行う調査への協力、関係機関との調整、候補地調査の実施		
住民参加型防災訓練の実施	ナラ・シェイクアウト訓練等の実施		
共助を担う防災リーダーの育成	防災リーダー研修の実施		
救急搬送の改善	救急搬送時間の短縮及び救急車の利用適正に向けた取組の実施		



奈良県防災総合訓練(田原本町)



避難所訓練・新聞紙でスリッパづくり(香芝町)



戦略3

新型インフルエンザ等対策訓練や食品安全に関する情報提供を行うなど、**感染症や食の安全・安心確保、消費者被害の防止の対策を将来にわたり推進します。**

● 担当当課: 医療政策局 疾病対策課、くらし創造部 消費・生活安全課

◆ 戦略目標 : :::: : :: : :: : :: : :: : :: : :: : :: : ::



※は数値の低い方が良くなる指標です。

◆ 主な取組 : :::: : :: : :: : :: : :: : :: : :: : :: : ::

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
食品取扱施設の監視指導及び食品検査の実施	食品衛生監視指導計画に基づいた計画的な実施		
インフルエンザ予防啓発の実施	流行期前からの啓発の実施		
消費者教育の実施	ワークショップ・移動講座・講演会等の実施		



食品取扱施設の監視指導(五條市)



新型インフルエンザ患者発生対応訓練・奈良県立医科大学感染症センターへの患者引き継ぎ(奈良県立医科大学)



戦略4

「安全・安心の確保のための奈良県基本計画」に基づき、包括的・横断的な犯罪抑止や交通事故防止対策を推進し、**日本一安全で安心して暮らせる奈良県を実現**します。

● 担当課: 知事公室 安全・安心まちづくり推進課、警察本部

◆ 戦略目標 : :::: ::::: :: :: :: :: :: :: :: ::

人口10万人当たり 重要犯罪等^(注1)の認知件数※

13.8 件
平成27(2015)年

目標
限りなく**ゼロ**
(9.0件以下を目標)
平成33(2021)年

(注1)重要犯罪等…殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐・人身売買、強制わいせつ、特殊詐欺

凶悪犯罪の検挙率^(注2)

86.1 %
平成27(2015)年

目標
100 %
以上を維持
平成33(2021)年

(注2)検挙率は、一定の期間に検挙した件数を一定の期間に認知した件数で除算して算出することから、100%を超える場合があります。

交通事故死者数^(注3)※

46 人
平成27(2015)年

目標
限りなく**ゼロ**
(25人以下を目標)
平成33(2021)年

(注3)交通事故死者数…交通事故発生から24時間以内に死亡した人数

※は数値の低い方が良くなる指標です。

◆ 主な取組 : :::: ::::: :: :: :: :: :: :: :: ::

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
子供を守る	学校及びその周辺における安全の確保等		
女性を守る	配偶者等からの暴力事案への対策の推進等		
高齢者・障害者を守る	高齢者、障害者を見守る地域づくりの推進等		
外国人をはじめとした観光客等を守る	急増する訪日外国人等への適切な対応等		
犯罪が発生しやすい「場」において県民を守る	特殊詐欺、暴力団、薬物対策等		
道路交通の「場」において県民を守る	高齢者及び子供の安全確保等		
県民を守るための安全・安心の基盤を強化	地域住民の自主的な取組に対する支援等		

県民が安全で安心して快適に暮らし続けられる
奈良県づくりを進めます。



愛着と誇りの持てる 「きれいな奈良県」の実現

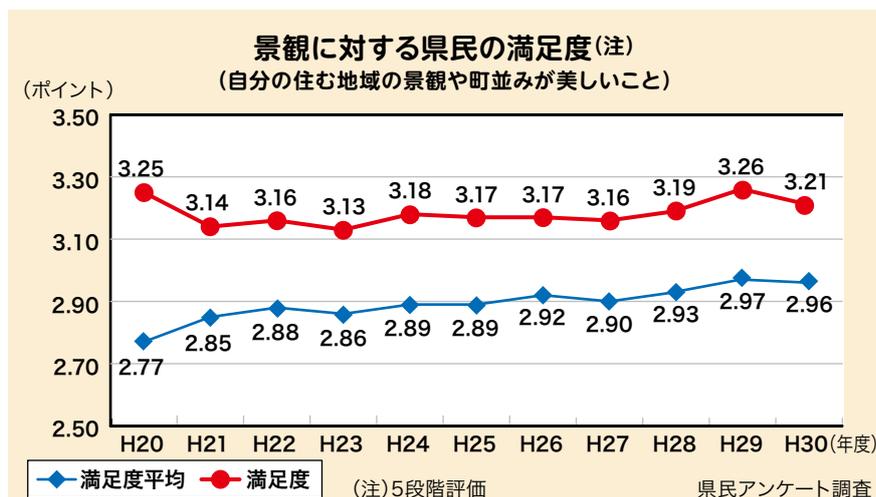
主担当部局：景観・環境局



岡崎川沿いの桜風景(安堵町)

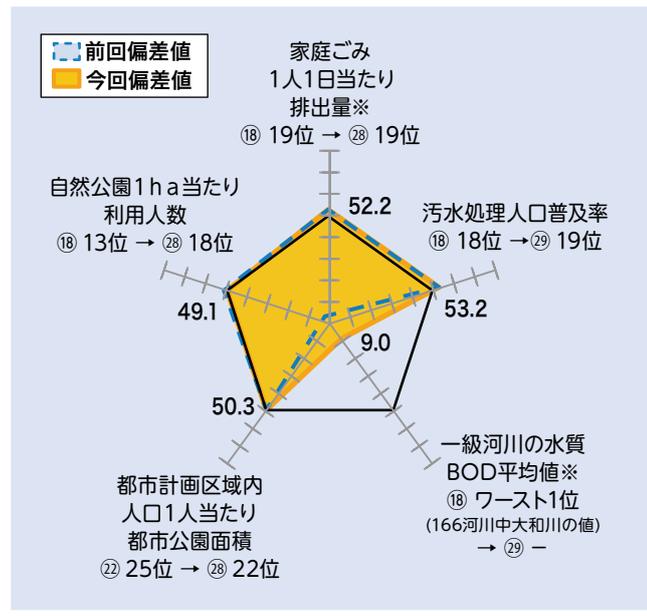
◆ 目指す姿

平成32(2020)年度までに、県民アンケート調査における**景観に対する県民の満足度**(自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと)を**3.50ポイント**にします。

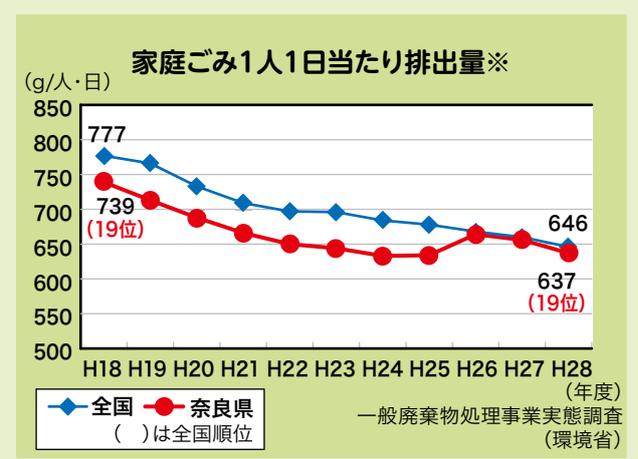


◆ 目指す姿を達成するための取組状況

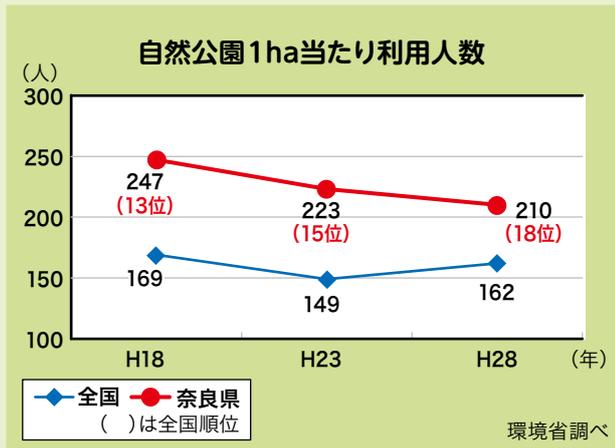
《 現状 》



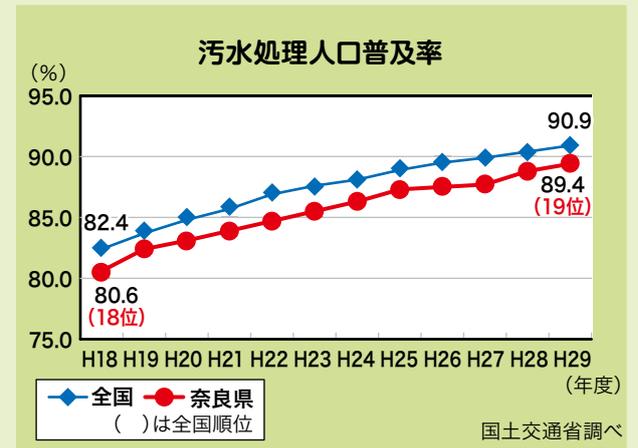
《 トレンド 》



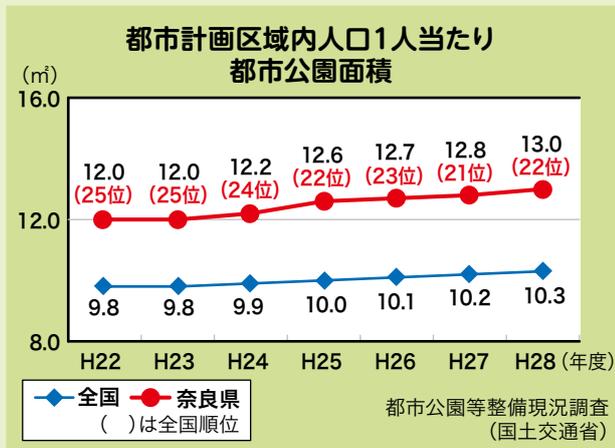
平成28年度の家庭ごみ1人1日当たり排出量は、平成18年度と比較して13.8%減少しており、全国平均と同程度となっています。



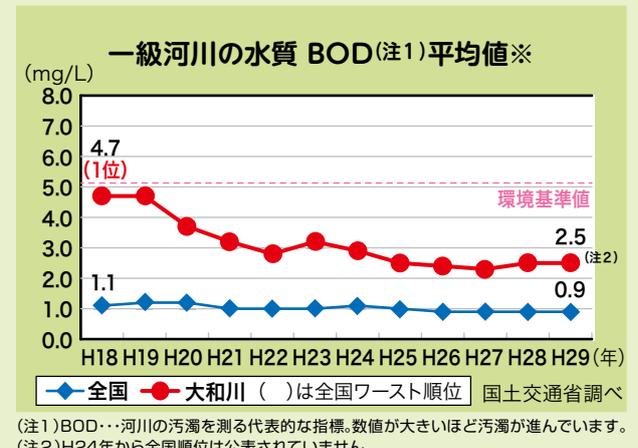
自然公園1ha当たり利用人数は200人から250人の間で推移しており、全国平均を上回っています。



下水道整備及び合併処理浄化槽設置促進により、汚水処理人口普及率は着実に上昇しています。



都市計画区域内人口1人当たり都市公園面積は順調に増加しており、全国平均を上回っています。



平成29年の大和川のBOD平均値は、平成18年と比較してほぼ半減し、着実に水質改善が進んでいます。

※は数値の低いものが上位になる指標です。



戦略 1

奈良県植栽計画の推進と良好な都市・沿道景観の形成に向けた取組により、奈良らしい景観づくりを進めます。

● 担当当課：景観・環境局 環境政策課、景観・自然環境課

◆ 戦略目標 : :::: : :: : :: : :: : :: : :: : :: : :: : ::

植栽計画着手エリア数(累計)

36 エリア
平成26(2014)年度



56 エリア
平成32(2020)年度

中和幹線沿道における市町条例規則に不適合な広告物の修景率

0%
平成29(2017)年度



100%
平成36(2024)年度

◆ 主な取組 : :::: : :: : :: : :: : :: : :: : :: : :: : ::

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
植栽計画(「なら四季彩の庭」づくり)の推進	新規エリア等の検討・計画、事業推進、市町村・住民等との協働スキームの構築・推進		
中和幹線沿道における屋外広告物対策	不適合広告物の是正・誘導		
奈良の玄関口となる駅周辺の景観整備	景観デザイン(案)の作成、歩行空間等の検討・計画、推進体制の構築・運営による事業化促進		



植栽整備による景観づくり(天川村観音峰登山口)



中和幹線から眺める二上山(大和高田市)



戦略 2

生活排水対策をはじめ、3R（リデュース・リユース・リサイクル）や省エネ・節電等の取組を促進し、環境負荷を低減します。

● 担当課：景観・環境局 環境政策課

◆ 戦略目標 : :::: ::::: :: :: :: :: :: :: :: ::

大和川の環境基準達成率

85.7%

平成26(2014)年度

目標

100%

平成32(2020)年度

一般廃棄物最終処分量※

61千トン

平成27(2015)年度

目標

46千トン

平成34(2022)年度

温室効果ガス排出量※

781万トン

平成25(2013)年度

目標

540万トン

平成42(2030)年度

※は数値の低い方が良くなる指標です。

◆ 主な取組 : :::: ::::: :: :: :: :: :: :: :: ::

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
「大和川のきれい化」推進	公共下水道接続・合併浄化槽整備等の促進、「きれいに暮らす奈良県スタイル」推進協議会による実践活動の促進、地域住民等が自主的に行う河川美化活動への支援		
「循環型の生活スタイル」推進	ごみ処理広域化の促進		
	「奈良の省エネ・節電スタイル」の推進、事業所の再生可能エネルギー熱利用の導入促進、公共建築物の木質化の促進		



大和川一斉清掃(大和高田市)



やまと広域環境衛生事務組合やまとクリーンパーク(御所市)

県民が安全で安心して快適に暮らし続けられる
奈良県づくりを進めます。



緊急時等にも強く、地域のエネルギー資源 を使ったエネルギーのかしこい利活用

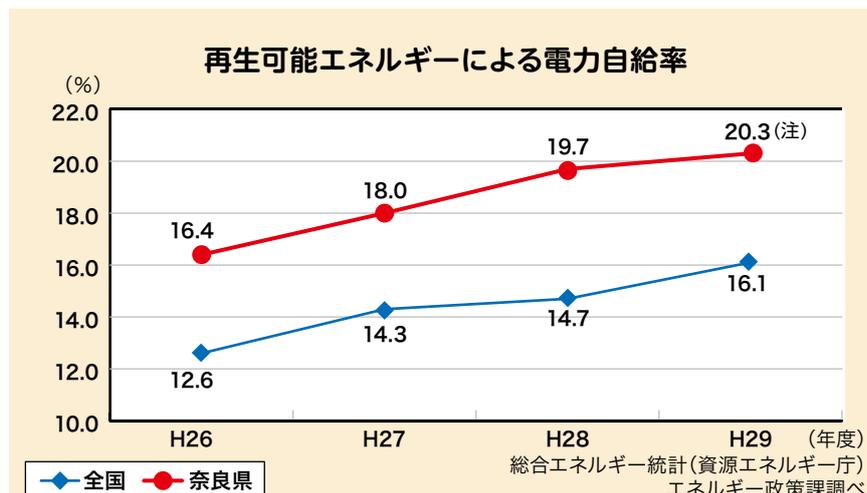
主担当部局：地域振興部



地域の人々が共同で製作した小水力発電のための木製水車(山添村)

◆ 目指す姿

平成33(2021)年度までに、再生可能エネルギーによる電力自給率を
22.0%にします。



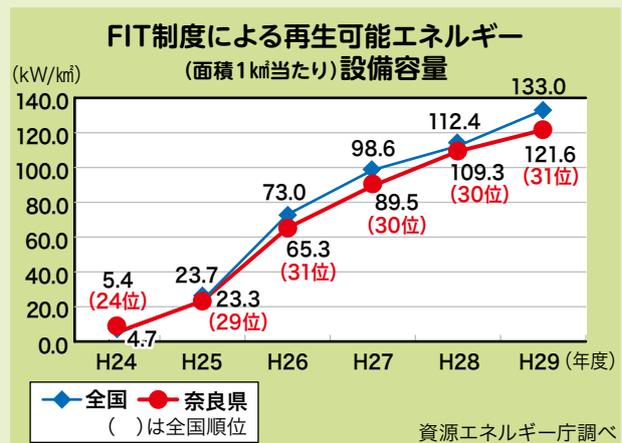
(注)全国順位は公表されていないため、記載していません。

◆ 目指す姿を達成するための取組状況

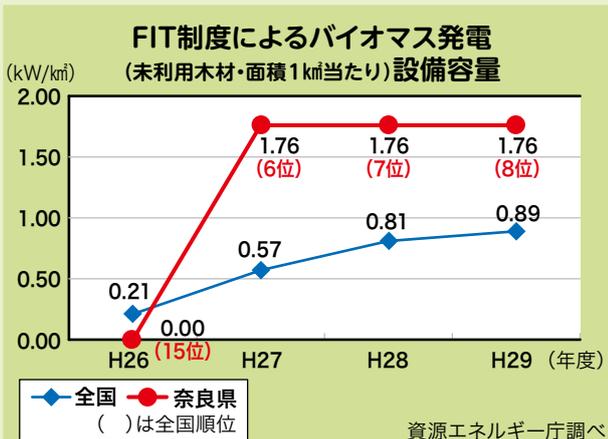
《 現状 》



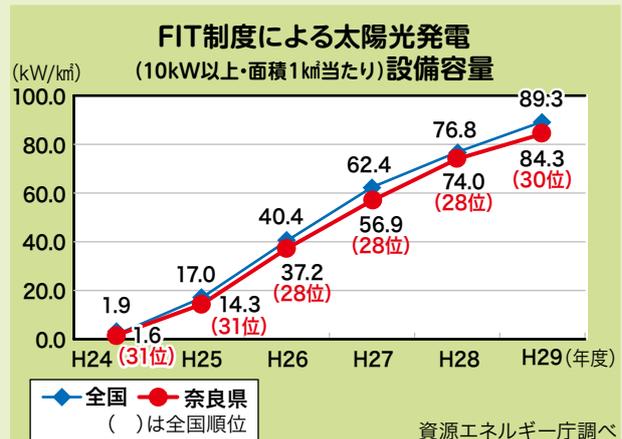
《 トレンド 》



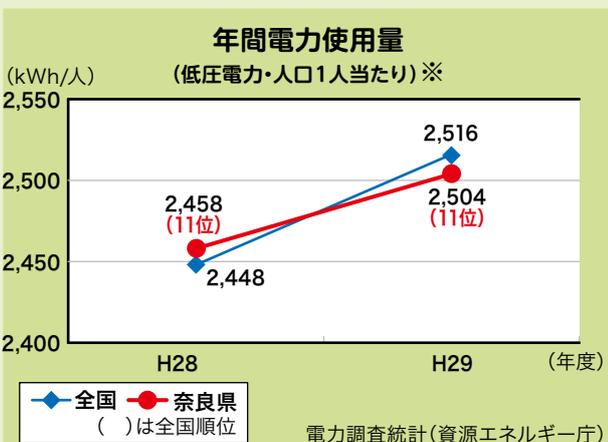
平成29年度のFIT制度による再生可能エネルギー(面積1km²当たり)設備容量は、平成24年度と比較して116.2kW/km²増加しており、全国31位となっています。



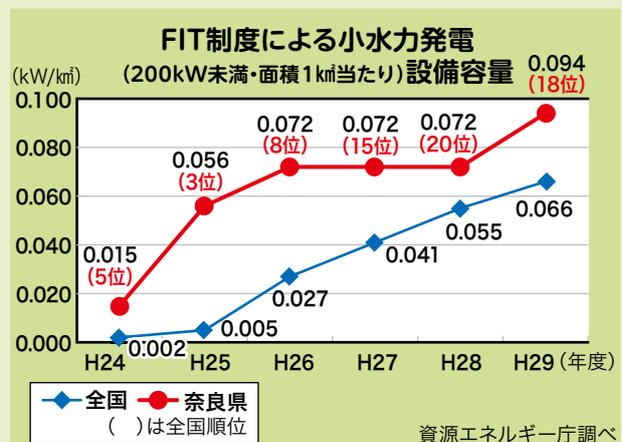
平成29年度のFIT制度によるバイオマス発電(未利用木材・面積1km²当たり)設備容量は、平成26年度と比較して1.76kW/km²増加しており、全国8位となっています。



平成29年度の主に事業用と考えられるFIT制度による太陽光発電(10kW以上・面積1km²当たり)設備容量は、メガソーラーの普及により、平成24年度と比較して82.7kW/km²増加しており、全国30位となっています。



平成29年度の年間電力使用量(低圧電力・人口1人当たり)は、平成28年度と比較して46kWh/人増加しており、全国11位となっています。



平成29年度のFIT制度による小水力発電(200kW未満・面積1km²当たり)設備容量は、平成24年度と比較して0.079kW/km²増加しており、全国18位となっています。

※は数値の低いものが上位になる指標です。



戦略 1

環境にやさしいエネルギーの利活用による地域活力の向上を図ります。

● 主担当課：地域振興部 エネルギー・土地水資源調整課

◆ 戦略目標 : :::: : :: : :: : :: : :: : :: : :: : ::

再生可能エネルギーを活用した
地域コミュニティ活性化につながる取組



水素ステーション設置箇所数



◆ 主な取組 : :::: : :: : :: : :: : :: : :: : :: : ::

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度	
再生可能エネルギーを活用した地域コミュニティ活性化に対する支援	導入可能性検討	再生可能エネルギーを活用した地域コミュニティ活性化の取組に対する支援		
水素ステーションの設置促進	水素ステーション関連事業者への働きかけの実施			● 水素ステーションの設置



電気自動車用急速充電器(五條市)



温泉施設に導入された薪ボイラー(天川村)

